



発行日 平成21年10月15日
発行者 衣川台自治会総務部
世帯数 335世帯

～衣川台夏祭りのご報告とお礼～

今年は、天候が目まぐるしく変わる中での自治会発足30周年の「衣川台夏祭り」となりました。自治会役員一同が一丸となって取り組んだのはもちろん、自治会傘下団体による心強いご協賛をいただき、雨が時折強く降る中で中断することもなく盛況のうちに、子ども会主催による「子ども祭り」、みどり会主催の「地蔵盆」とともども、無事夏祭りを終えたことを報告させていただきます。

夏祭りに向けての準備では、衣川台南公園の除草と舞台及びテント設営等を公園愛護会の皆様のご協力により、分電盤の設置事業と夏祭りの照明設備の設営については野間様のご協力により滞りなく用意することができました。

また、夏祭りを盛り上げるものとして例年好評の模擬店も、防災部・囲碁同好会による飲み物コーナー、きいろ会によるやきとり、フランクフルト、棒ギョウザ、ハムカツ、洋風焼きオムメシ及びコンニャク田楽のコーナー、自治会役員によるカキ氷、枝豆、から揚げ、みたらし団子、おにぎり及び前年度文体部役員メンバーの協力による焼きそばと、多彩なメニューで自治会員の皆様には喜んでいただけたと思います。

プログラムの最初、自治会長、みどり会安部会長及び子ども会岩田会長の挨拶は手短に終え、いよいよ30周年記念として、皆様のご寄付により購入したケヤキの大太鼓（1.8尺、面56cm、胴長64cm）のお披露目です。威勢良く、子ども会の女子児童による打ち鳴らしで、オープニングを行いました。

続くは、哲泉流詩吟の平岡さんが所属されるコスモ和楽による詩吟、ギター演奏と歌で楽しみました。しかし、途中から雨。舞台はシートで屋根を張っていましたので続行しましたが、観覧席は雨。観覧席にテントをとの指摘があり、急遽予備のテントを観覧席に設営して何とか続行することができました。

引き続き、衣川台メイトと衣川台シルバースのエアロビクス。小雨の中、ぬれた芝生の上で元気いっぱい、一糸乱れず見事に踊りきられました。衣川台シルバースの皆さんにお若い！今後の一層のご活躍をお祈り申し上げます。

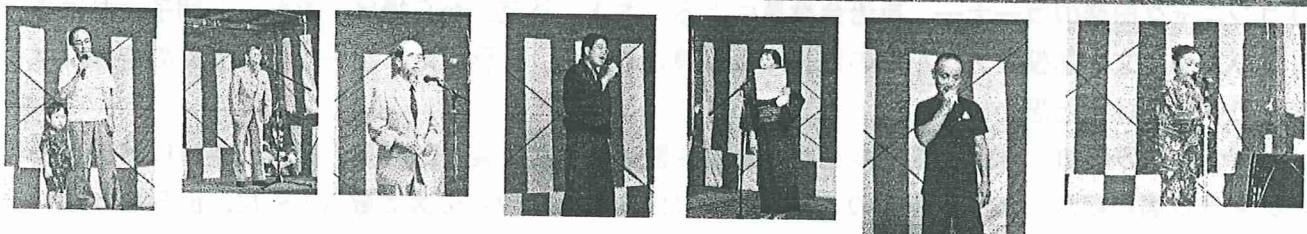
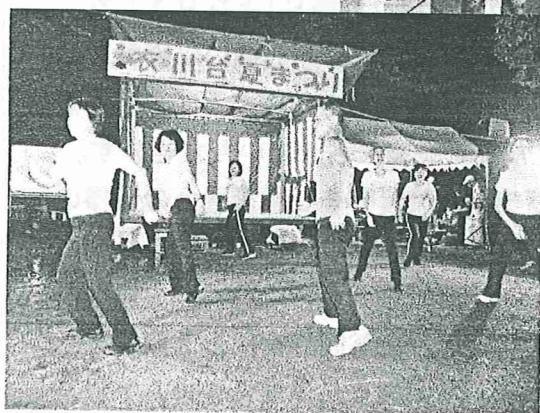
その後もカラオケを楽しみ、bingoゲームの数字に一喜一憂し、最後に盆踊り、江州音頭で締め括ることができました。

模擬店のスタッフの皆さん、プログラムの出演者の皆さん、自治会、みどり会、子ども会の役員の皆さん及び協賛いただいた傘下団体の皆さんご苦労様でした。

翌日の日曜日には早朝よりの後片付け、月曜日には仰木の里東小学校への借用物品の返却についても、多くの方々のご協力を得ることができました。

夏祭りにご参加いただいた皆様はもちろん、準備や運営そして後片付けに携わっていただきました方に、心より厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

衣川台自治会長 飯田 雅史
文化体育部部長 大野 光男



衣川台夏祭りを終えて

夏祭り（地蔵盆）のお礼

8月22日の衣川台夏祭りには猛暑の中、多くの皆さんに参加下さり有難うございました。地蔵盆も自治会や各団体の協力で設営が出来、2時15分より子ども会を中心に法要が営まれ、8時頃までお参りと併せて世代間交流の輪が出来ました。

皆様よりのご厚志、お供えを頂き誠に有難うございました。

子ども会やみどり会の活動経費等に有意義に使わせて貰います。

今後とも高齢化の進む衣川台で少しでも地域に役立つ活動を心がけて参ります。

衣川台老人クラブ（みどり会）

会長 安部 保（13組）

まずは、夏祭りにおきまして自治会役員、各種団体の皆様お疲れ様でした。

今年も自治会からの要請があり認証団体でも無い私達きいろ会が夏祭りに参加させて頂きました。

当日はあいにくの天候になりましたが祭り本番、事前準備、後片付け等怪我も無く皆様と和気あいあいと作業させて頂き嬉しく思っております。

きいろ会としても楽しい夏の思い出を、又一つ作らせて貰いました。

役員の方々、自治会員の皆様、有難う御座いました。

きいろ会 一同

夏祭りに参加して

囲碁ってご存知ですか。黒石白石を交互に打ち合い布石といって勝負の骨格を創ります。戦いを仕掛けたり仕掛けられたりの手に汗握る中盤、終盤のヨセで1局が終わります。

難しいようで簡単、簡単なようで難しい価値ある一手即ち神の一手が打てれば最高です。

興味ある方は北自治会館で毎週（土）19時から手談に興じています。

仏（ほとけ）の棋士があなたをお待ちしています。

今回、夏祭りの布石は南公園周辺の草刈にカマを持って参加、しかし、文明の利器、草刈機の妙手に阻まれ早々に緩手を打ち、次の一手は振り替りでゴミの袋詰めでしのぐ。鳩にとってアクシデント発生、藤棚の藤の枝打ちをしていた人がこんな所に鳥の巣があると叫んでいる、幸い巣にヒナは居ず一安心。

今年も自主防災部合同でのドリンク店「白と黒」妖しげな店名は碁石から来ている。

お昼は老人会が中心にお坊さんのお参り、ありがたい講話、私は古老から戦争体験談をお聞きし平和が当たり前の今、改めて平和の尊さを再認識した次第です。

夜に入り老若男女が南公園になびく軽快な歌とともに夜の幕開き。私の日ごろのおこないの悪さか突然雨が降り出し心配したが、bingoゲームの頃には雨もやみ最高潮、各出店もフル回転、中盤の難所を制し勝勢から勝ちに進む「白と黒」も生ビール中心に完売、皆さんにも喜んで頂き神の一手が打てました。

しめは、南自治会館で打ち上げ。スタッフ全員が集まり自己紹介兼ねての感想一言、力を合わせての夏祭りこの感触を向こう三軒両隣的ふれあいの始まりとしたい。

囲碁同好会 福井末敏

日頃は、子ども会活動にご理解・ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

8月の【衣川台夏祭り】は、子どもたちが毎年楽しみにしている夏休みのイベントの一つです。今年の夏祭り当日の子ども会の部は、なんとか天候にも恵まれ、多くの子どもたちに参加していただきました。スーパー・ボールすくいや当てるもの、bingo等、ゲームを楽しむ子どもたちの元気な声と笑顔に包まれ、大人も子どもも楽しいひと時を過ごすことができました。これもひとえに、ご協力下さった自治会役員の皆様、住民の皆様のおかげと役員一同深く感謝いたしております。

子ども会活動も後半がスタートいたしました。今後とも、子ども会活動を温かく見守っていただきますよう宜しくお願ひ申し上げます。

子ども会会长

岩田 良一・紀子

衣川台夏祭りに思うこと

衣川台に住んでいる人たちがお互いに気兼ねなく、ワイワイ・ガヤガヤ大きな声を出し合って、ゆかいにひとときを過ごせるのが「衣川台夏祭り」だと思っています。

衣川台自治会役員のみなさまには、祭りの企画立案・検討・実施・反省と大変な作業になりますが、祭りを終えたときの感激には何とも言えない味わいが出てくるものと思います。私自身10年前に自治会長としてその味わいを感じたのは忘れることができません。それだけに毎年毎年自治会役員が交代しても、今年度はどのような企画が示されるのか！大きな楽しみにしています。

祭りを観る楽しみよりも、祭りに自ら参画する楽しみには、より一層大きいものがあります。私は衣川台団体同好会メンバーの一員として飲み物コーナーに参画しており、もちろんコーナーの売上額も気に掛かりますが、最も嬉しいのは、子ども達が自分の思いで飲み物を注文し、口にしながら祭りの輪のなかに入り込んでいく姿が見られることです。丸喜屋さんと違った生ビールを多くのみなさまがリクエストしていただくのも大変気分の良いものです。もちろん、自ら生ビールの試飲（ああ！おいしい！）が出来るのも、参画している一員の特権とおもっています。

現役時代にはスナックでのカラオケはずいぶんこなしましたが、祭りのステージではちょっと苦手です。でも、小学生からお父さんまで一緒にステージで競うのは見ていても気分が良いものです。江州音頭は滋賀県人として全国どこを訪ねても欠かせません。祭りでは率先して踊らせていただきました。

衣川台オアシス公園愛護会では、南公園の除草・清掃を毎月1回以上実施しており、8月は夏祭りの日程にあわせて作業を行っています。今年は8月9日を予定していましたが、あいにく雨天のため8月16日に変更いたしました。今年も、自治会役員のみなさま多数が除草・清掃作業に参加していただき、祭り当日には公園藤棚、周囲の垣根など気持ちの良い環境で迎えられました。祭りの進行途中での降雨による応急ブルーシート張りも後になるほど思い出深いものとなります。

間もなく「大津祭り」がやってきますが、京都祇園祭り、大阪天神祭りなどと違った、手作りの「衣川台夏祭り」の良さを衣川台の住民としていつまでも引き継いでいきたいと思っています。

平成21年10月6日

衣川台オアシス公園愛護会

代表世話人 田中正彦

□ その他事業・活動のご報告

★ 軽スポーツ大会（9月6日）の結果

○グランドゴルフ 銅メダル獲得！

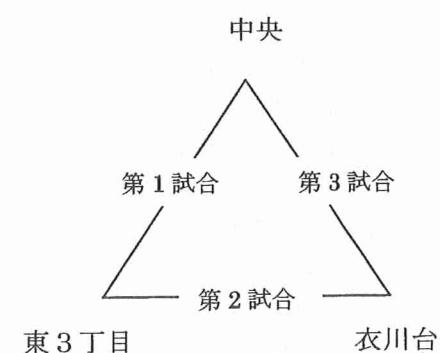
みどり会の皆さん中心に今年も見事に3位入賞

1位	学校前
2位	里
3位	衣川台
以下	仰木台、里西、山ノ下、中央

○インディアカ 銀メダル獲得！

Cブロックで2位入賞でした。

	Aブロック	Bブロック	Cブロック
1位	東6	東5	東3
2位	山ノ下	東山	衣川台
3位	仰木台	ミックス	中央



★ コミュニティ助成の申請について

天候に左右されずお祭りを実施できるように、ビックパワーテント購入に対する助成を大津市に申請します。

【取組の趣旨】

今年の夏祭りは、雨に降られて、何かと皆様にはご迷惑をお掛けしました。天気は、照るテル坊主に祈るしかないのですが、出来れば天候に左右されずお祭りができるかと考えております。

大津市及び滋賀県を通して財団法人自治総合センターが行っているコミュニティ助成事業を利用して、大太鼓の取得を考えていたのですが、皆様のご寄付により大太鼓は購入できました。

この大太鼓に替えて「ビックパワーテント(10m×10m)」の助成申請をと考えています。

この制度は、宝くじの普及広報を目的としている事業で、下限が100万円、上限が250万円、自己負担なしの全額助成です。地域の活性化に資する幅広い取組を対象としています。

ただし、採択されるかどうかは、宝くじが当たる確率で大変難しく、「駄目でもともと」と思って取り組みます。

衣川台から仰木の里までの連絡道路の整備に関する中間報告

- 平成21年度の自治会総会において、南ルートで整備することで皆様の同意を得ており、その後、大津市との間で、自治会役員会及び道路建設推進委員会が折衝を重ねています。
※これまで検討していた3ルート
 - ① 8組前の道路を西に抜ける北ルート
 - ② 通学路の仰木の里側にある急勾配の階段下の三叉路を基点に団地内に直進する中央ルート
 - ③ 大津市が概要設計1次案で示した、急勾配の階段下からS字を描いて団地内に進入する南ルート（総会で同意を得たルート）
- 大津市から道路設計の最終案が提示されれば、臨時総会を開催し、皆様の同意を得ることにしていますが、大津市は自治会要望を踏まえて地権者と折衝中で、最終案の提示までには今しばらく時間を要するようなので、とりあえず今日までの状況について、下記のとおり、中間報告させていただきます。
- 道路計画の最終案は示されていませんが、用地買収の交渉は始まります。最終案が示されれば、速やかに総会を開催しますので、今しばらくお待ち願います。

(1) 道路設計の基本的な考え方

概要設計1次案で示されたS字部分を第1工区、第1工区の東に位置し琵琶湖を臨む勾配18%の急な坂道で緩和を検討中の東側部分を第2工区と位置づけて、一体的に事業化を図る。

なお、事業規模が大きいため、第2工区を含めて国補助を受けて事業化することを予定。

(2) 現在までの事業進捗

平成19年度 調査・測量委託費の予算計上（20年3月に完了）

⇒ 20年4月に概要設計1次案が示される。

平成20年度 設計費の予算計上

平成21年度 用地買収費の予算計上

⇒ 21年9月2日、第1及び第2工区の各地権者と大津市との間で権利に関する境界確定
いよいよ、第1工区の地権者との間で用地買収交渉に入る。

(3) 歩道設置

前回の総会で説明しておりましたが、概要設計1次案には、歩道がありませんでしたが、別図修正案のとおり、第1工区には独立した歩道が計画されています。

第2工区については、関係地権者の土地利用計画との調整が進んでおらず、経路は未確定です。しかし、一連の道路でありながら、その一部にのみ歩道を計画することは考えられないとして、連続的に歩道を設置するよう検討いただいております。

(4) 地権者との調整

現時点では、自治会の要望する経路と地権者の土地利用計画とが一致せず、大津市が慎重に地権者との調整を図っています。

自治会としては、道路勾配の緩和が図れ、団地内の既存道路との接続に無理がなく、団地内の既存宅地が覗き見されることのない道路を要望しています。しかし、そのことが関係地権者の敷地を分断することになるため、地権者の土地利用に支障を来たさない方法を探っておられます。大変微妙な時期なので、無理をすると壊してしまいますので今は見守るしかありません。

(5) 第2工区設計に当たっての要望

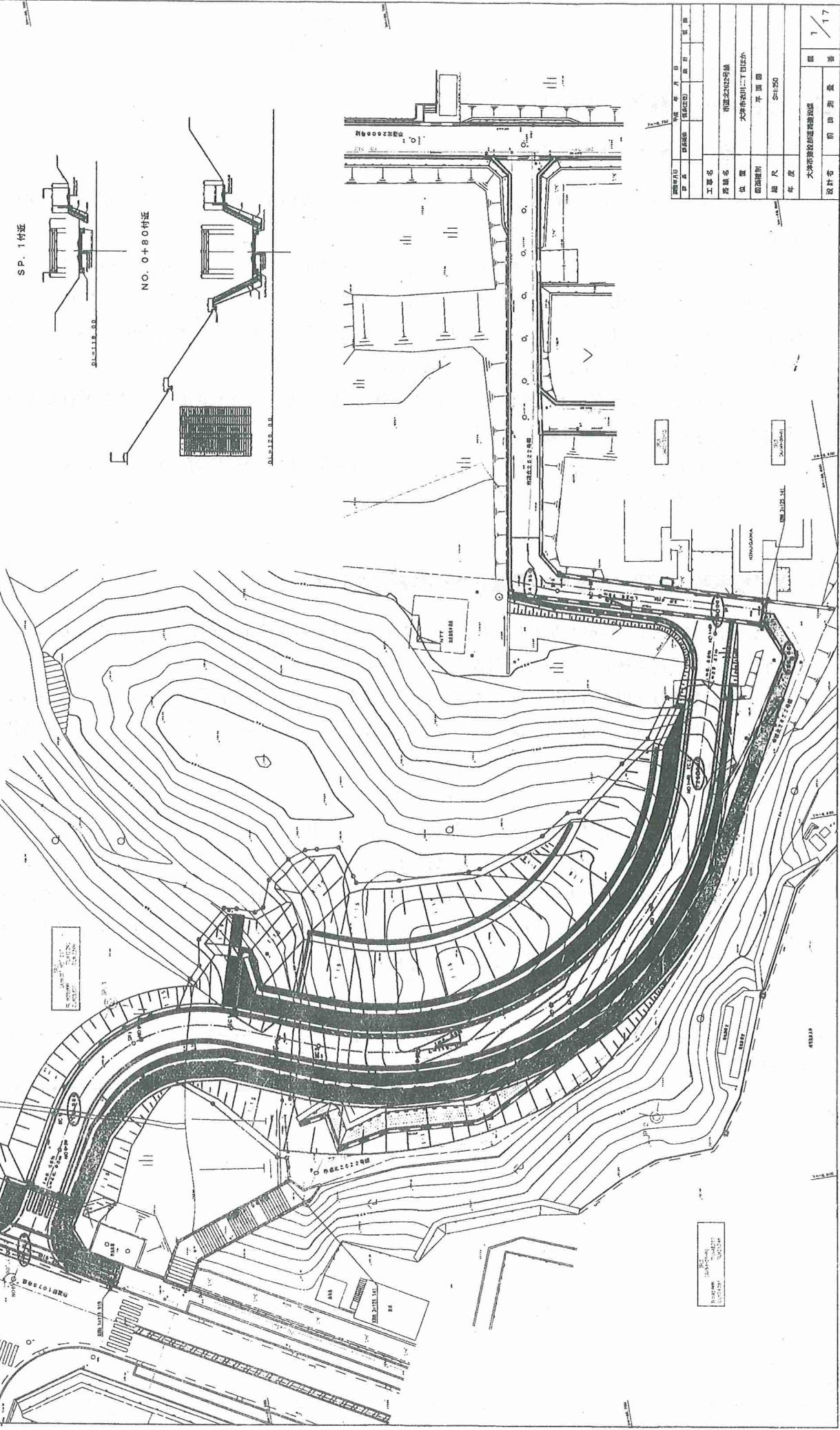
- ① 通学路としての安全を確保するため、歩行者・自動車を分離する歩道を設置してください。
- ② 道路を造成するため土地を掘り込むこととなり、見通しの悪くなることが考えられるので、通学路としての防犯対策を講じた設計を行ってください。
- ③ 歩道の連續性を確保できない部分が生じた場合は、横断歩道を設置してください。
- ④ バイク・自動車の速度を抑制するために、視覚的又は物理的な抑止効果のある構造の道路としてください。

（注）第1工区、第2工区の名称は、便宜上名づけたものです。したがって、工区を分ける線はありません。強いて言えば、図面を半分に折って西が第1工区、東が第2工区となります。

平面図 S=1:250

道路標準断面図(1)

S=1/200



□ 皆さんのご意見をお寄せください。

① お祭り実行委員会を設立することの検討

春・夏の両祭りについて、毎年、総入れ替えの新役員が、古い記憶を呼び起こしながら、苦労して実施しています。

ただでさえ、多忙な自治会活動の中にあって、その負担は大変重いものとなっています。

以前は、春祭りは旧役員・新役員共同で、夏祭りは現役員・次年度役員予定者が共同で取り組むことにより、実地に引き継ぎをしてきました。しかし、いつからか当該年度の役員が傘下団体の協力を得て、一自治会としては規模の大きな夏祭りを実施しています。

つきましては、経験豊富な方々及び傘下団体の皆様が中心となって主体的にお祭りを実行していただく専門委員会を作れないかと考えております。

あまり難しく考えずに、楽しむために集まって、そのあり方について検討していくことから始められないかと考えております。

② 選挙投票所の新設又は配置の見直しへの取組について

先日、衆議院議員選挙がありましたが、天神山自治会館での投票率はかなり低いものでした。原因はわかりませんが、投票所として立地条件が悪いのも一因と考えられます。

平成21年度の衣川台自治会の学区要望として、投票所の新設又は配置の見直しを要望しております。この要望の中で、住民の高齢化が進む中、今の投票所は高齢者にとって立地条件が悪く、基本的権利である選挙権の行使を困難にしていると訴えていますが、これが現実のものとなってしまったのかなと感じています。

選挙管理委員会と保育課（衣川天満宮前に移設し拡充される天神山保育園を所管する）とに出向いて、投票所の新設又は配置の見直しについて、話をできました。

簡単にはいかない、かなり難しいとの感触でした。ただし、以前に投票所の開設を要望した折の記録には、検討してみたいとの主旨の文言もあります。後は、住民の実現への思いの強さ次第だと思います。

ご意見をお寄せください。今後の折衝の参考とさせていただきます。

-----キリトリ線-----

<ご意見欄>